

発行者：日本共産党岡山市議団
岡山市北区大井 1-1-1 ☎086-803-1707
Mail: kyousantou_shigidan@city.okayama.jp

日本共産党岡山市議団 市政ニュース

2023 2/5 No.295 (通305)
日本共産党岡山市議団



北区 よ え 余江ゆきお

森脇ひさきさんと力を合わせます!

岡山市に足りないのは
お金ではなく
福祉の心
未来に希望を持って
生きられる社会に

平和への想いが原点です。学生の時に広島や長崎に行き、被爆者の方々の人生をかけた訴えや願いにふれて、戦争のない世界を求め核兵器をなくす運動に参加。身近な地域から戦争について考えようと、岡山大空襲の体験を語り継ぐ「ピースキャンドル」を毎年開催しています。
戦争か平和かの分かれ道に来ている今、想いはますます強くなっています。憲法9条を生かした平和外交への転換を、岡山から声を上げていきましょう。

青年の要求実現に力を尽くしてきました。コロナ禍の中、民青同盟が主催する学生向け食料支援の会場で、「食事は1日1食」「生活費を削っている」など、切実な声を聞いてきました。
これからは生きる若い人たちが、未来に希望を持って生きられる社会にしていけるために、全力でがんばります。

プロフィール 1977年10月18日京都府舞鶴市生まれ。吉備国際大学社会学部卒。法律事務所、飲食店、印刷会社などで、正規・非正規の様々な働き方を経験。津島東3丁目在住。趣味：車の運転、カラオケ。家族：妻。

Twitter Instagram

いま必要?これが優先? 大型事業

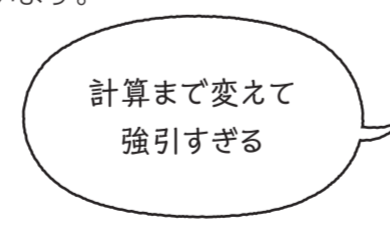
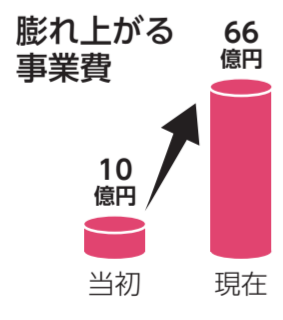
市民置き去りの路電乗り入れ 66億円

路面電車の岡山駅前広場乗り入れ事業は、10億円だった当初計画が66億円まで増大しています。市はどれだけ額が増えようと事業推進に固執しています。

市は、乗り入れによって乗降客が1000人/日増えると思えますが、具体的な根拠を聞いても答えられません。高齢者や障害者のためとつつ、高齢者が今どれだけ利用しているのか把握していません。

岡山市民72万人のうち20万人は、バス停や鉄道駅などから離れた「交通不便地域」に住んでいますが、市はこの解消方針を持っていません。市の交通課題の全体を見据えるのではなく、中心部の乗り入れ事業を重視する姿勢が、根本的な問題です。

1月から駅前広場の工事は始まっていますが、乗り入れそのものはまだ止められます。今どうしても進めるべき事業なのか、広く市民的な議論を行うべきです。



過大な積算で斎場建設 10.5億円

岡山市は、西大寺斎場の老朽化を理由に瀬戸内市と斎場共同整備を進めてきました。整備される4炉のうちの2炉が岡山市分となっています。

市はもともと、将来必要な火葬炉数を24炉としていましたが、途中で計算方式を変えて28炉に増やしました。しかし、現在の東山斎場と北斎場の計26炉で、将来的にも火葬需要をまかなうことができる見通しがあります。一時的に不足する場合でも、他市の施設利用負担に助成する方が安上がりです。

岡山市負担の見込は、約10.5億円の建設費と毎年1千万円余の運営費です。党市議団は、建設ありきの過大な計算だと厳しく指摘し、瀬戸内市の斎場整備に岡山市が加わる必要はないと主張しています。

多目的屋内施設 アリーナ急浮上 81億円

市は、トップスポーツチーム等が使うアリーナ(多目的屋内施設)について基礎調査を行い、北区北長瀬での建設費用を81億円と試算した上で、建設に前向きな姿勢を示しています。地元財界からの要望に応えたものです。

運営経費については、試合以外のイベントを土日中心に年32日程度行うことで採算が取れるとしています。そうすると結局、一般市民のスポーツ利用はしにくいこととなります。

市は、基礎調査に際してスポーツ団体など施設整備を求める立場からの意見しか聞いていません。費用を県や民間に求めるとしても、そもそも市が建てる必要があるのでしょうか。

これらの計画に市議会は…

		結果	共産	自民系	公明	創政	熊代	羽場	鬼木	小会派	森山	寺林
瀬戸内市との火葬場の共同整備	予算と事務委託の議案(20年9月議会)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アリーナ整備	基礎調査費用を含む当初予算(22年2月議会)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
路面電車の岡山駅前広場乗り入れ	工事費用の一部を含む当初予算(22年2月議会)	可決	×	○	○	○	○	×	○	○	○	欠

※アリーナと路面電車は議案としては当初予算1本だが、羽場議員が反対表明したのは路面電車の部分のみ

